

# はしがき

---

本書 *Writing Key: English Grammar and Usage for Better Writing* は、英文読解と、文法を軸とした英文作成を通して、英語のライティング力を高めることを目指したテキストです。各ユニットで1つの文法事項を取り上げ、その文法事項を様々なタスクを通して習得できるよう工夫しています。

すべてのユニットを、以下の6つのセクションで構成しています。

## ● **Model Essay**

各ユニットでターゲットとする文法項目がちりばめられた200語程度の文章が収められています。活きた文章の中で、ターゲットの文法項目を含んだ文はどのような使い方をするのか、確認してほしいと思います。

## ● **Grammar for Writing!**

各ユニットでターゲットにしている文法項目を、例文とともに詳しく説明しています。例として本文から取り上げた文だけではなく、他の分かりやすい文も挙げることで、理解しやすい解説にするように努めました。

## ● **Step 1 Grammar Practice**

文の空所に適切な語句を入れるタスクを通して、英語の感覚を理解してもらうことに主眼を置いています。このことから日本語訳を提示せずに、英文の文脈から適切な語句を書き入れる形にしています（Unit 5 と Unit 15 は、当該文法項目との兼ね合いから、少し異なった形式のタスクになっています）。

## ● **Step 2 Create Sentences**

語句の並べ替えを通して、当該ユニットの文法項目を理解できるように工夫しています。文の組み立て方を学んでほしいと思います。

## ● **Step 3 Try Writing**

日本語の意味に合致する英文を書くタスクです。そのとき「文法的に正しい」という観点だけではなく、より「英語らしい」文になることを意識してもらうために、いくつか語句を提示し、その語句を使って英文を作成する形式にしました。

#### ● Step 4 Write about Yourself

Model Essay から取り出した文の表現を使って、その他に示した 2 つの例も参考にしながら、自分のことについて自由に英文を書いてもらうタスクです。将来の本格的な英文エッセイにつなげる前段階のタスクとして位置づけています。

本書の日本語タイトル『英語の感覚をつかむ 文法からライティングへ』にあるように、本書は様々なタスクを通して、英語母語話者が持っている自然な英語の感覚をつかむことができるように努めました。本テキストを活用し、少しでも英語の感覚を認識でき、かつ英文を書くことが楽しくなれば、著者としてはこの上ない喜びです。

本書を刊行するに当たっては、企画段階では特に金星堂編集部の松本明子様と金星堂営業部の平田英司様にお世話になり、編集および発行段階では、金星堂編集部の蔦原美智様にお世話になりました。蔦原様のきめ細やかなご配慮と的確なコメントが、本テキストをより良いものにしてくださったことは間違いありません。また他の金星堂編集部の皆様にも、各段階でたいへんお世話になりました。ここに感謝申し上げます。

2018 年 10 月

著者

## Table of Contents



<b>Unit 1</b>	<b>Orange Clothing</b> 【動詞の用法】	6
	シチリア産オレンジの意外な活用法	
<b>Unit 2</b>	<b>A Reasonable Dream...</b> 【文の主語】	10
	パラリンピックの誕生	
<b>Unit 3</b>	<b>Japan's Popular Wave</b> 【時制】	14
	世界の北斎、街角に現る	
<b>Unit 4</b>	<b>Color Matters</b> 【形容詞・副詞】	18
	「いいね！」の親指が表すもの	
<b>Unit 5</b>	<b>Business, Not Bullets</b> 【名詞】	22
	アフガン駐留米兵のある思いつき	
<b>Unit 6</b>	<b>Spices for Life!</b> 【冠詞・数量詞】	26
	カレーを食べて、人生にスパイスを！	
<b>Unit 7</b>	<b>Plastic Planet</b> 【分詞】	30
	バリ島の姉妹が地球を救う	
<b>Unit 8</b>	<b>London Coffee and Lazy Men</b> 【関係詞】	34
	“コーヒー中毒”は怠け者を生む？！	
<b>Unit 9</b>	<b>Jacques' Lung</b> 【比較】	38
	海洋探検家ジャック・クストーの夢	
<b>Unit 10</b>	<b>Disease vs. Hunger</b> 【助動詞】	42
	マラリアとの闘いは終わらない	
<b>Unit 11</b>	<b>May We Have a Catalog, Please?</b> 【仮定法】	46
	あなたの赤ちゃん選んでみませんか	
<b>Unit 12</b>	<b>Bright Little Lights</b> 【接続詞】	50
	メキシコの小さな村を照らす神秘	
<b>Unit 13</b>	<b>Popular but Penniless</b> 【不定詞と動名詞】	54
	名声を得ども…	
<b>Unit 14</b>	<b>Taxing the Robots</b> 【受動態】	58
	ロボットに課税せよ	
<b>Unit 15</b>	<b>Sayonara, My Dear</b> 【強調・倒置・形式主語】	62
	日本初の外国人英語教師	

## Orange Clothing

動詞の用法

**Model Essay** 太字の表現に注意して読みましょう。

DL 02



CD 02

In recent years, garment makers **have been creating** new products **using** new kinds of textiles. Examples **include** non-iron shirts and lighter and softer clothing that **keeps** us warmer in winter and cooler in summer. Naturally, such advances **are facilitated** by extensive budgets for research and development.

5 But with far less money, one design student in Sicily, an island in Italy, **developed** an interesting and environmentally friendly textile for **producing** clothes. The island **is** famous for its delicious mandarin oranges and **produces** a large amount annually. Apart from **selling** them, many of the oranges **are squeezed** to **make** juice, which **results** in thousands of tons of waste peel, or  
10 skin. Can you **imagine** such mountains of waste from oranges?

For her university graduation project, the student **wanted** to **find** a way to **put** the waste to good use. Then, after **spending** many hours in the university laboratory, she **succeeded** in **using** the peel to **make** silk-like material. Subsequently, she **established** a company in 2014 to **produce** and **sell** the  
15 material to makers of garments such as shirts and dresses. Fortunately, her company **is based** in a local juice-making factory, so it **gets** its necessary waste material for free.

Thanks to the student's efforts, Sicily's unwanted *mountains* should  
20 **become** smaller and smaller.



Sicily mandarin oranges

**Notes**

garment 衣類    textile 織物、布地    facilitate 容易にする    budget 予算    Sicily シチリア (イタリア南方の島)  
environmentally friendly 環境にやさしい    apart from ~に加えて    squeeze 絞る、圧搾する  
result in ~という結果になる    waste 廃物、くず    peel, skin (果物などの) 皮    imagine 想像する、心に描く  
laboratory 実験室、研究所    succeed 成功する    subsequently その後、続いて    material 素材、物質  
effort 努力、奮闘    unwanted 役に立たない、不必要な

## 1 自動詞と他動詞



DL 03



CD 03

英語の動詞には、目的語を必要としない「自動詞」と、必要とする「他動詞」があります。

- ① Justin **runs** every morning. ジャスティンは毎朝走っている。
- ② Let's see how their idea **develops**. 彼らのアイデアがどのように発展するか見ていこう。
- ③ One student **developed** a new kind of textile. ある学生が新しい種類の布地を開発した。
- ④ She **wanted** to find a way to put the waste to good use.

彼女は廃物を役に立たせるための方法を見つけたいと思った。

- ⑤ I don't **think** my boss will accept my plan. 上司は私の計画を受け入れないと思う。

- ▶ 自動詞：目的語を必要としません。ただし修飾語句が後に続く場合 (① 波線部) と、修飾語句がない場合 (②) があります。
- ▶ 他動詞：動詞の後に必ず名詞句あるいは名詞節が来て (③④⑤ 下線部)、動詞の目的語になります。

## 2 動詞にとって不可欠な要素



DL 04



CD 04

動詞は自動詞・他動詞の区別だけでは十分ではありません。自動詞であっても後に他の要素を必要とするものや、他動詞であっても目的語以外の要素を必要とするものがあります。

- ⑥ Making juice from oranges **results in** thousands of tons of waste peel, or skin.

オレンジからジュースを作ることは何千トンもの皮の廃物をもたらす。

- ⑦ Let's **talk** about the matter later. その問題は後で話しましょう。

- ▶ **result** は自動詞ですが、後に前置詞 **in** から始まる句 (下線部) を必要とします。
- ▶ **talk** は自動詞で、**Let's talk**. のように動詞だけで使われるほか、前置詞 **about** を使って話す内容を述べたり、**talk with her** のように話し相手を示したりすることが多いです。

- ⑧ Sicily's unwanted *mountains* should **become** smaller and smaller.

シチリアのゴミの山はどんどん小さくなるはずだ。

- ⑨ It **sounded** real, but it was not. それは本当のように聞こえたが、そうではなかった。

- ⑩ My teacher **put** some books on the desk. 先生は机の上に本を置いた。

- ⑪ Sweaters **keep** us warm in winter. セーターは冬に私たちを暖かく保ってくれる。

- ▶ **become** や **sound** は自動詞ですが、必ず後に補語 (名詞、形容詞など) を必要とします。
- ▶ **put** は他動詞ですが、目的語の他に場所を表す句 (前置詞句・副詞句) を必要とします。
- ▶ **keep** ~ ...「～を…に保つ」の用法では、目的語の後に補語が必要です。



## Step 1 Grammar Practice

以下の英文の（ ）には動詞が入ります。文中の要素を手掛かりにして、適切な動詞を選択肢から選び、必要があれば形を変えて記入しましょう。

1. I forgot to ( ) the strawberry cake in the fridge, so it must have gone bad.
2. His proposal ( ) quite good. We should go with it.
3. I make it a rule to ( ) before going to work every morning.
4. The boss says he will ( ) his future plans with us in a couple of days.
5. It was really nice ( ) with you today. Let's keep in touch.

look	discuss	talk	put	run
------	---------	------	-----	-----



## Step 2 Create Sentences

日本語の意味に合わせて、（ ）内の語句を並べ替えましょう。

1. 早く仕事を片付けて、遊びましょう。  
( finish / quickly / let's / ourselves / enjoy / and / the work ).  
\_\_\_\_\_
2. この書類をどこへしまえばよいか分かりません。  
( put / don't / I / should / know / I / documents / these / where ).  
\_\_\_\_\_
3. 話している途中で話をさえぎらないでください。  
( talking / don't / am / I / please / me / interrupt / while ).  
\_\_\_\_\_
4. 彼は一流のコンピュータソフトウェア会社に就職しました。  
( computer software / he / at / leading / a / his / company / started / career ).  
\_\_\_\_\_
5. 僕はそれは素晴らしい案だと思うよ。  
( idea / me / it / a / wonderful / sounds / like / to ).  
\_\_\_\_\_



### Step 3 Try Writing

日本語の意味に合わせて、[ ] 内の語句を使って英文にしましょう。

1. キュリー夫人は科学の面で貢献したことで有名です。[Marie Curie, contributions]

---

2. 値段には消費税が含まれています。[include, consumption tax]

---

3. 今晚私の家に来ませんか。[want, come over]

---

4. 私は今日中に課題を終えるよう頑張っているところです。[get, my work]

---

5. このせいで、私は難しい状況になりました。[put, situation]

---



### Step 4 Write about Yourself

本文の13行目 “she succeeded in using the peel to make silk-like material” のように、あなたが成功したことについて、本文と以下の例を参考に、英語で短い文章を書いてみましょう。

**例 1** I succeeded in passing my driving test yesterday, so I'm planning to go for a drive this weekend.

**例 2** I succeeded in writing a new song after a month of hard work. I hope the fans like it.

---

---

---

---

---